

**川崎市総合計画における
事務事業・施策評価シート
【様式見本】**

PDCAサイクルを意識できるように、それぞれの記載項目ごとにP(計画)、D(実施結果)、C(評価)、A(改善)を分けて記載する

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要								
事務事業	事務事業コード 11101010	事務事業名 防犯対策事業					実施計画の記載 有	
担当	所属コード 2105151	所属名 市民・こども局市民生活部地域安全推進課						
実施期間	事業開始年度 昭和55年	事業終了年度 —	事務・サービス等の分類	分類1(市民サービス等) イベント等	分類2(内部事務) —			
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他							
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 (法令・要綱等) ○○に関する法令、○○に関する条例、○○に関する要綱							
総合計画と連携する計画等	○○方針、○○計画							
行財政改革に関する計画上の関連する課題名	改革項目 2-(11)市民サービス等の再構築			課題名 6 地域安全施策の更なる推進				
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	計画事業費	予算額	
	事業費 A	570,791	563,505	637,950	637,950	637,950	637,950	
	財源内訳	国庫支出金	45	-	54	-	54	-
		市債	0	-	0	-	0	-
		その他特財	1,519	-	1,573	-	1,573	-
		一般財源	569,227	-	636,323	-	636,323	-
人件費* B			66,320	66,328	65,600	65,600	65,608	
総コスト(A+B)			704,270	704,278	703,550	703,550	703,558	
人工(単位:人)			8.29		8.2			

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

①事前に入力済の部分
②所属課で入力する部分

①総合計画と連携する計画を中心に記載し、関連する計画の進行管理を効率的に実施できるようにする

②行財政改革プログラムに関する改革項目等を記載し、エクセルの別シートで同時に進行管理する

計画 (Plan)		
政策体系	政策 施策 直接目標	安心して歩ける安全なまちをつくる 防犯対策の推進 市内で発生する犯罪を未然に防ぐ地域づくりを進める
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	市民	
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	誰もが犯罪や事故に巻き込まれることなく、安心した生活を送れるようにします。	
事業の内容 (どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか)	防犯の観点から地域における安全・安心なまちづくりを推進するために、市及び区に設置された地域団体や関係機関等からなる協議会を中心に、防犯パトロールなどの取組を進めます。	
今年度の事業の取組内容 (具体的に今年度どのような活動をするのか)	① 自主防犯活動団体への支援 ② 安全・安心まちづくり推進協議会を中心とした地域団体等による地域のパトロールの実施(○回) ③ 安全・安心まちづくり対策員による防犯診断・パトロールの実施(○回) ④ 町内会等が設置する防犯灯のLED化の推進(○灯) ⑤ 犯罪被害者等支援相談の実施(○回)	

③事業の対象、目的、手段を分けて記載し、何のために事業を行っているのか、本来の目的を再認識させる

④実施計画に記載されている取組を記載する

実施結果 (Do)		
上記「今年度の事業の取組内容」に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
取組内容の実績等 (上記に掲げた事業の取組内容に対し、「未達成部分」又は「より達成できた部分」を記載)	目標どおり達成 ②の地域のパトロールの実施については、○回実施 ③の防犯診断・パトロールについては、○回実施 ④防犯等のLED化については、○灯設置	

⑤④で記載した取組がどれだけできたのか、達成度を確認する【計画の進行管理としての要素】

指標分類	数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明)	目標・実績	H27年度	H28年度	H29年度	単位
1 活動指標	住宅の防犯診断件数	目標		110	120	件
	説明	実績				
2 活動指標	LED防犯灯の灯数	目標				灯
	説明	実績	4,962			
3 成果指標	市内刑法犯認知件数	目標		11,000	10,500	件
	説明	実績	11,287			
4		目標				
	説明	実績				

『有効性』と関連

⑥④で記載した取組のうち、数値で把握できる取組やその結果得られる効果について、経年的に見ることで、事業の活動実績や効果を把握する【計画の進行管理及び評価としての要素】

評価 (Check)	
事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など)	刑法犯認知件数については、ピークであった平成14年から連続して減少し、伴って、継続的な防犯対策の取組が求められています。
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) H 25 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	H25年度: ○○について、仕様書を見直し、委託料を削減しました。 H24年度: ○○について、普通郵便で郵送していたものをメール便に変更し、経費を削減しました。 H23年度: ○○について、仕事を効率化し、業務の一部を廃止しました。 H22年度:
『必要性』と関連	
『効率性』と関連	
評価項目	評価
必要性	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか a. 薄れていない b. 薄れている a
【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がない a. ない b. ある a	【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか a. 上がっている b. 徐々に上がっている c. 上がっていない b
有効性	【民間の活用】 委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地がある a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み b
【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある a. 可能性はない b. 可能性はある b	【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地がある a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み a
効率性	【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地がある a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み a
【理由】 ・市が直営で行っている○○については、委託化が可能であり、それに伴いコストの削減も見込まれます。 ・今年度、△△△を行ったことで、ESCO事業の推進に大きく近づいたことはできましたが、□□□が発生したことにより、想定以上の人員・財源が必要になっています。	【理由】 成果指標も目標値をほぼ達成している。現在市が直営で行っている部分について、専門性の高い業者に委託することで、事業の成果をさらに高めることができる余地があります。
施策への貢献度	【理由】 ・市が直営で行っている○○については、委託化が可能であり、それに伴いコストの削減も見込まれます。 ・今年度、△△△を行ったことで、ESCO事業の推進に大きく近づいたことはできましたが、□□□が発生したことにより、想定以上の人員・財源が必要になっています。
貢献度区分	上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由
A. 貢献している B. やや貢献している C. 貢献の度合いが薄い	B
市内刑法犯認知件数は、2017年度の目標値に達成しなかったものの、活動指標としてのLED防犯灯の設置を上回ったこと、また、地域団体等による地域のパトロールの実施等を順調に実施できたことから、一定程度の施策への貢献はありました。	

⑦事業環境と取り巻く社会環境の変化を記載する

⑧直近5年程度の事業の見直し履歴を記載することで、今までの事業の見直しや改善内容を可視化し、努力の成果を見せていく

⑨**必要性**(⑦と関連)、**有効性**(⑥と関連)、**効率性**(⑧と関連)の視点で、前述の関連する項目との整合性を図りながら、**客観的な事務事業の評価を行う【計画の評価としての要素】**

⑩事業の評価結果等から、**上位施策にどのよう貢献しているのか、貢献度区分と選んだ理由を記載する【計画の評価としての要素】**

改善 (Action)	
今後の事業の方向性	方向性区分
I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性	住宅の防犯診断件数は、目標値達成に至らなかったことから、広報や周知の手法等について改善を図る必要があります。また、今後は、地域団体等による地域のパトロールの実施をより強化し、安全・安心なまちづくりを推進していきます。
今後の事業の方向性を踏まえた次年度の計画上の変更箇所	変更前 (次年度計画上の記載) ③安全・安心まちづくり対策員による防犯診断・パトロールの実施(○回)
変更後 (上記計画上の記載に対する変更点)	③安全・安心まちづくり対策員による防犯診断・パトロールの実施手法の見直し【変更】 ⑥警察と連携した振り込め詐欺対策の実施【新規】
変更の理由	③については、担い手が不足していることから、委託化も含めて実施手法の見直しを行う。 ⑥については、振り込め詐欺件数が急増していることから、急ぎ警察と連携した取組を新規に実施する。

⑪**実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性を記載する**

⑫今年度の進捗状況から、**次年度の計画上の取組に影響を与える場合、その影響を踏まえて変更部分を上記に記載し、次年度の評価シートにその変更となった部分を反映させることで、経年的にデータを蓄積していく**

この帳票から、成果指標や配下の事務事業の効果等を客観的に見て分析できるようにし、次期計画等の事業構成や事業の見直しに繋げることができるようにする

施策評価シート(第1期実施計画 中間評価)

1 施策の概要							
政策体系上の位置づけ	基本政策(1層)	生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり					
	政策(2層)	安全に暮らせるまちをつくる		計画当初値(H27年)	直近実績値(HO年)	最終目標値(H37年)	
	市民実感指標	①	安全・安心な日常生活を送っていると思う市民の割合	54.1%		54.1%	
施策(3層)	施策コード	10201000 防犯対策の推進					
	組織コード	251700 市民文化局市民生活部地域安全推進課					
担当	関係課 経済労働局産業政策部消費者行政センター						
関係課	経済労働局産業政策部消費者行政センター						
施策の概要	<p>●地域で発生する空き巣、ひったくり、放火などの犯罪の防止に向け、市民、地域団体、事業者、警察、行政などが協働・連携し、防犯意識の高揚・啓発の取組や地域の自主防犯活動を推進するとともに、町内会・自治会が管理してきた防犯灯について、民間に委託し維持管理するESCO事業を導入することで、LED化と合わせた効率的な維持管理を進めます。</p> <p>●路上喫煙から歩行者の安全を確保するため、路上喫煙防止キャンペーンによる意識啓発や巡回指導員による指導・啓発活動を推進するとともに、商店街等を訪れる市民が安心して公共の場所を通行利用できるよう、「客引き行為」等の防止に向けた取組を進めます。</p> <p>●インターネットの普及など情報化の進展に伴い、悪質商法や詐欺なども年々巧妙化していることから、複雑かつ専門的な相談内容に的確に対応するための相談窓口の体制づくりを進めます。</p>						
直接目標	市内で発生する犯罪を未然に防ぐ地域づくりを進める						

①事前に入力済の部分
②所屬課で入力する部分

①政策の掲げる「市民実感指標」を掲載し、上位政策の状況を意識できるようにする

②実施計画に記載している、施策概要及び直接目標をそのまま記載する

③実施計画に記載した成果指標を記載する

2 成果指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた指標名(指標の説明)		現状値(年度)	目標・実績	H28年度	H29年度	単位	
成果指標	1 空き巣等の刑法犯認知件数	10,685	目標値② 実績値③ 達成率(③/②) 99%	10,500 10,600	10,400 10,350	件	
	指標の説明	H26年度	指標達成度 ※1	b	a	増減	
	2 路上喫煙防止重点区域通行量調査で確認された喫煙者の数	42	目標値② 実績値③ 達成率(③/②) 91%	39 43	36 40	件	
	指標の説明	H26年度	指標達成度 ※1	c	b	増減	
3 消費生活相談の年度内完了率	97.7	目標値② 実績値③ 達成率(③/②) 100%	98 98	98 96	%		
指標の説明	H26年度	指標達成度 ※2	a	b	維持		
4			目標値② 実績値③ 達成率(③/②)				
その他数値で把握できる補足指標(指標の説明)			実績	H27年度	H28年度	H29年度	単位
1	防犯灯の累計設置数		実績	16,860	17,172	17,488	件
2	自警団への防犯パトロール用ベストの支給		実績	7	5	10	件
その他	定性的な成果(当初想定していなかった発現効果などについて記載)	●市の防犯対策事業に関する取組が、マスコミに取り上げられ、結果地域団体のパトロールに参加する人が増え一定の成果がありました。					
指標等の	成果分析(指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載)	●刑法犯認知件数は、数値目標に各年度とも到達していないものの、当面の人口増加、単身世帯の増加やライフスタイル・価値観の多様化などにより、社会状況が変化の中で、年々一定の割合で減少しており、2017年度の達成率は98%とほぼ目標に近い値になっていることから、一定の成果があったと思われます。 ●路上喫煙者割合は、2014年度の現状値から増加し、その後減少に転じたものの結果的に2017年度の実績値は、2014年度の現状値と同水準となりました。原因としては、武蔵小杉駅等の拠点駅の利用者数が増え、市外からの来訪者が路上喫煙防止重点区域と知らずに路上喫煙していることなどが主な要因と思われます。					

④【達成度のイメージ】
a: 目標値以上
b: 現状値(個別設定値)以上・目標値未満
c: 60%以上現状値(個別設定値)未満
d: 59%以下
などを自動判定

⑤実施計画に記載していないが、事業を実施して効果があった数字(アウトプットを含む)を記載する

⑥数値では把握できないが、例えば事業を行ったことでマスコミに取り上げられ、イメージアップした事例など、定性的に記載できる成果を記載する

⑦指標等の数値が上がっていない場合は、外的要因等を含めて記載し、なぜ成果が上がらなかったのかなど、達成状況を客観的に分析する

※1 指標達成度の目安【 a. 目標値以上(100%以上)、b. 現状値以上～目標値未満、c. 60%以上～現状値未満、d. 59%以下】
※2 指標達成度の目安【 a. 目標値以上(100%以上)、b. 個別設定値以上～目標値未満、c. 60%以上～個別設定値未満、d. 59%以下】

3 施策を構成する主な事務事業の評価

番号	事務事業コード 事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費(千円)		事業の達成度	施策への貢献度	今後の事業の方向性
					予算額	決算額			
1	10201010 防犯対策事業	その他	市民、事業者、地域の防犯関連団体、警察、行政等と協働・連携し、犯罪のない安全・安心な川崎をめざした取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防犯活動団体への支援 ●安全・安心まちづくり推進協議会を中心とした地域団体等による地域のパトロールの実施 ●防犯灯のLED化促進に向けたESCO事業による防犯灯交換工事の実施 ●安全・安心まちづくり対策員による防犯診断・パトロールの実施 	165	165	3	A 貢献している	I 現状のまま継続
					170	170			
					200	200			
2	10201020 路上喫煙防止対策事業	その他	路上喫煙から歩行者の安全を守るため、喫煙のルール遵守の普及啓発や重点区域における巡回・指導を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●路上喫煙防止指導員による巡回活動指導、啓発等の実施 ●ポイ捨て禁止と連携した路上喫煙防止キャンペーンの実施(開催回数:85回以上) ●路上喫煙通行量調査の実施 ●路上喫煙防止重点区域の拡大等に向けた検討・実施(溝口駅南口広場等) 	1,125	1,125	3	B やや貢献している	II 改善しながら継続
					1,351	1,351			
					1,135	1,135			
3	10201030 客引き行為等防止対策事業	その他	商店街等を訪れる市民等が安心して公共の場所を利用することができるよう、「客引き行為」等の防止に向けた取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●客引き行為等防止の重点区域の指定(川崎駅東口周辺) ●商店街や県警と連携した条例の周知や防止キャンペーン等の実施(開催回数:2回以上) ●客引き行為等防止指導員の巡回活動による指導、啓発等の実施 	10,203	10,203	3	B やや貢献している	I 現状のまま継続
					10,202	10,202			
					10,030	10,030			
4	10201040 消費生活相談情報提供事業	公職及び相談・苦情申立ての聴取等	消費生活に関する相談に対し必要な情報提供を行い、消費者被害の救済及び未然防止を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●消費生活相談に係る相談窓口体制の強化・休日の相談受付の試行 ●「次期消費者行政進捗計画」(H29からH31)の策定 ●「消費者行政センターの組織及び運営等に関する条例」施行・消費生活相談員等に対する研修機会の確保 	318	318	3	B やや貢献している	II 改善しながら継続
					336	336			
					353	353			
5	10201050 消費者啓発育成事業	その他	消費者被害の未然防止及び消費者の自立を支援するため、消費者教育の効果的な推進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●年齢や特性に応じた消費者教育の展開 ●ホームページやメールマガジン等を活用した情報発信の充実 ●出前講座、講演会の実施 	371	371	3	B やや貢献している	II 改善しながら継続
					388	388			
					406	406			
6									
7									
8									
9									
10									

⑧事務事業の概要を記載する

⑨効果があった事務事業の取組を抽出し、簡潔に記載する

⑩経年の事務事業の達成度、事業費を確認できるようにする

⑪事務事業シートから、参考になる情報を転記する

⑫指標の自動判定の結果を中心に定性的な成果、施策の効果等から、総合的に評価する
※平成28年度末に実施する中間評価では、指標の結果が出揃わないため、指標の達成度は参考とし、それ以外の要素で進捗度を判定する

4 施策の進捗状況

施策の進捗状況 (指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業の評価等から総合的に評価)	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
	<ul style="list-style-type: none"> A 順調に推移(目標達成している) B 一定の進捗がある(目標達成に向けて進捗している) C 進捗は遅れている(目標達成が遅れる可能性がある) D 進捗は大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある) 	B	B

⑬施策の成果等を見ながら、上記事業構成を確認し、次期計画等に向けて、事業の見直しや新たな事務事業の検討などが必要かどうか分析し、それらを踏まえて今後の方向性を記載する

5 今後の方向性

今後の事業構成の妥当性 (手段は妥当か?)	区分	選択区分	「事業構成の妥当性を選択した理由」及び「今後の方向性」
	<ul style="list-style-type: none"> I 効果的な事業構成である(現状のまま継続する) II 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある) III あまり効果的な事業構成でない(見直し等の余地が大きい) IV 事業構成に問題がある(抜本的な見直し等が必要である) 	II	II

参考 前総合計画の事務事業の帳票

2013年度 事務事業点検票(1)

<基本情報>

事務事業コード	11101010	事務事業名	防犯対策事業	<input type="checkbox"/> 総務 <input type="checkbox"/> 総企 <input type="checkbox"/> 財政
事務事業所管組織	市民・子ども局市民生活部地域安全推進課	施策課題名	安全な地域社会の確立	<input type="checkbox"/> 重点
区との関係	<input type="checkbox"/> 全市 <input checked="" type="checkbox"/> 川崎 <input checked="" type="checkbox"/> 幸 <input checked="" type="checkbox"/> 中原 <input checked="" type="checkbox"/> 高津 <input checked="" type="checkbox"/> 宮前 <input checked="" type="checkbox"/> 多摩 <input checked="" type="checkbox"/> 麻生			
	担当者	連絡先		

<事業概要>

事務事業によって解決すべき問題・課題	市民に関心の高い「防犯対策」については、市民、地域団体、事業者、警察及び行政が連携して取り組むことが大切です。また、誰もが犯罪に巻き込まれる可能性があり、被害者やその家族等の身体的・精神的被害の回復・二次的被害の防止等に対する支援を行うことが求められています。
事務事業の概要	<p>地域での安全・安心を推進するために、市及び区に設置された地域団体や関係機関等からなる協議会を中心に、防犯パトロールなどの取組を進めます。また、このような取組を通して、地域コミュニティ活動の活性化を図ります。</p> <p>警察官OBなどの専門的知識を有する人を安全・安心まちづくり対策員（防犯診断員）として任用し、地域をパトロールしながら、住宅の防犯対策についてアドバイスを行い地域犯罪の抑制につなげます。また、犯罪被害者等からのさまざまな相談を受け、必要な情報提供等を行うことにより、二次的被害の防止や支援等の役割も果たしていきます。</p> <p>長寿命で不点灯防止に有効であり、かつ、地球環境配慮の観点から、二酸化炭素排出量の削減効果も期待できるLED防犯灯の導入を推進します。</p>

<事業目標>

年 度	現 状 (計画策定時)	2011年度	2012年度	2013年度
事業目標	市民・地域・警察等との協働による地域の身近な防犯対策の推進	自主防犯活動団体への支援 安全・安心まちづくり推進協議会を中心とした地域団体等による地域のパトロールの実施 安全・安心まちづくり対策員による防犯診断・パトロールの実施 町内会等が設置する防犯灯のLED化の推進 犯罪被害者等支援相談の実施	継続実施	継続実施
実行計画と差異のある事業目標				
実 績		「川崎市安全・安心まちづくり推進協議会」の開催（2回） 防犯診断（26回）・パトロール（平日毎日）の実施 出張防犯相談コーナーの開設（16回） LED防犯灯の設置促進（1,295灯） 「第1回かわさき安全・安心フェア」の開催 川崎市暴力団排除条例の制定	「川崎市安全・安心まちづくり推進協議会」の開催（2回） 防犯診断（85回）・パトロール（平日毎日）の実施 出張防犯相談コーナーの開設（15回） LED防犯灯の設置促進（2,902灯） 「第2回かわさき安全・安心フェア」の開催	「川崎市安全・安心まちづくり推進協議会」の開催（1回） 防犯診断（102回）・パトロール（平日毎日）の実施 出張防犯相談コーナーの開設（37回） LED防犯灯の設置促進（4,962灯） 「第3回かわさき安全・安心フェア」の開催
事業目標を達成する上での課題等	昨年度の診断・相談実績を踏まえ、防犯診断員による防犯診断・パトロール及び犯罪被害者等支援相談について、広報・啓発等を効果的に実施する必要があります。 長寿命で不点灯防止に有効であり、かつ、地球環境配慮の観点から、二酸化炭素排出量の削減効果も期待できるLED防犯灯の導入を推進するため、町内会等の防犯灯管理団体に対し、LED防犯灯の設置促進を図る必要があります。			
事業目標達成に向けた今年度の取組	チラシ、ポスター、ラジオ番組、市ホームページ、メールニュースかわさき、河川情報表示板等の各種媒体を活用した広報・啓発で市民に広く支援相談事業の周知を図るとともに、各区役所、支所において出張防犯相談コーナーを原則年2回ずつ実施します。 LEDのメリットのPRや市補助金制度の活用を促すチラシを作成し、各防犯協会の協力を得て町内会・自治会あて周知するとともに、市政だよりを始めとする各種媒体を活用した広報により広く周知を図ります。			
取組の成果	町内会・自治会のLED防犯灯の設置を促進した結果、LED防犯灯の設置数は倍増した前年度をさらに大幅に上回り4,910灯となりました。（2012年度設置実績2,902灯） 警察や川崎フロンターレをはじめとした民間事業者等の協力のもと「第3回かわさき安全・安心フェア」をJ1試合開催日に実施し、防犯、交通安全等について、市民等に対する意識の高揚を効果的に図ることができました。 出張防犯相談コーナーを各区役所等における取り組みのほか、今年度は老人いきいの家でも実施した結果、昨年より大幅増の1,327名の参加があり、防犯意識の向上を図ることができました。			

達成状況	2011		2012		2013	
	当初目標に対する達成状況	変更後の目標に対する達成状況	当初目標に対する達成状況	変更後の目標に対する達成状況	当初目標に対する達成状況	変更後の目標に対する達成状況
	3	3	-	3	-	-

＜計画事業費＞

(単位：千円)

年度	2011年度		2012年度			2013年度			
	予算	決算	計画事業費	予算	決算	計画事業費	予算	決算見込	
事業費	401,652	419,640	395,819	490,576	481,682	396,421	570,791	563,505	
財源内訳	国庫支出金	144	0	144	102	0	144	45	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他特財	10,458	0	1,458	1,484	0	1,458	1,519	0
	一般財源	391,050	0	394,217	488,990	0	394,819	569,227	0

＜人工＞

(単位：人)

人工	所管課(所)	2.80	3.36	2.31
	関係課(所)	6.29	5.57	5.79

＜3か年の総括＞

項目	評価	評価の理由
事業の必要性	3	防犯については、市民アンケート等からも常に市民の関心が高い項目となっています。犯罪認知件数は減少傾向にありますが、体感治安がそれに比して減少していないことから、継続的な取組が求められています。また、防犯灯のLED化については、環境負荷軽減の観点からも、継続した取組が求められています。
事業手法の有効性、効率性、経済性	3	防犯事業のうち、住宅の防犯診断や出張防犯相談コーナーの運営については、専門的な知識を有する警察官OBを非常勤嘱託員として採用するなど、費用対効果のある施策を展開しています。また、防犯灯のLED化については、資力が必ずしも潤沢ではない町内会・自治会等に対し、LED防犯灯設置には補助率にインセンティブを設けるなど、柔軟な運用を行って効率性を高めています。
3か年の事業目標(計画策定時)に対する達成状況	Ⅲ	防犯灯については、積極的な補助施策を各年展開した結果、町内会・自治会が設置・管理する防犯灯のうち約9,500灯をLED化することができましたが、これは全防犯灯に占める割合としては1割強であることから、さらなる施策の強化が必要です。また、防犯診断等の施策については、老人いこいの家等に事業展開をした結果、より周知を図ることができましたが、犯罪認知件数は横ばいという状況であり、さらなる施策の強化が必要です。
計画策定当初から変更・追加のあった事業目標に対する達成状況		

＜事業の方向性＞

2014年度以降の方向性	防犯にかかる取組は継続性が求められており、防犯灯のLED化について導入率が1割強の現状であることから、今後についても積極的な施策の展開が必要です。	点検結果2011	点検結果2012	点検結果2013		
		A	A	C		
達成状況	1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った	点検結果	事業見直しによる 予算・人員等の拡大	予算見直しによる 予算・人員等の削減	予算・人員等の 現状維持等	予定どおりの 事業終了
		A	B	C	D	

参考 前総合計画の施策の帳票

評価年度2013年度

施策進行管理・評価票

〈基本情報〉

施策課題	11101000 安全な地域社会の確立	作成課	市民・こども局市民生活部地域安全推進課
基本政策	安全で快適に暮らすまちづくり	政策の基本方向	暮らしの安全を守る
関係課	教育委員会事務局学校教育部健康教育課、市民・こども局こども本部こども青少年部青少年育成課、市民・こども局市民生活部市民協働推進課	基本施策	身近な安全の確保
		重点	■

〈第3期実行計画（2011（H23）～2013（H25）年度）における施策の概要及び施策の目標〉

当該施策によって解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ●安全で快適に暮らすまちづくりを進める上で、防犯、交通安全、路上喫煙は大きな課題となっており対策が求められています。 ●社会状況が変化する中で、地域の安全確保に向けては、市民、地域団体、事業者、警察及び行政等の連携した取組が求められています。 ●犯罪被害者等が受けた被害の回復及びその後の二次的被害の防止等に対する支援を行うことが求められています。 ●防犯灯の不点灯を防止し設置効果を向上させることで犯罪被害の未然防止を進めていく必要があります。 ●交通事故の更なる減少に向けた取組が求められています。 ●人ごみでの喫煙は非常に危険であり歩行者の安全確保に向けてマナーの一層の向上が求められています。 ●児童の放課後の安全な居場所の確保が求められています。
施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> ●安全・安心まちづくり推進協議会を中心に地域団体や関係機関等の連携によるパトロールを実施するなど安全確保に向けた取組を進めます。 ●パトロールや住宅防犯診断を実施し地域犯罪抑制に向けた取組を推進します。 ●犯罪被害者等の相談に対し情報提供等を行うことで二次的被害の防止や支援等の役割を果たします。 ●長寿命で不点灯防止に有効で維持管理のコストや環境負荷の軽減効果も期待できるLED防犯灯の導入を推進します。 ●交通ルール遵守やマナー向上に向け地域や関係団体との連携による交通安全市民総ぐるみ運動を推進するとともに事故被害者になりやすい幼児、児童、高齢者を対象として交通安全教室を開催します。また、通学路の安全確保に向け交通危険箇所地域交通安全員を配置します。 ●路上喫煙防止キャンペーンや巡回を実施するとともに重点区域の拡大等の検討を進め範囲を拡大します。 ●子育て支援・わくわくプラザ事業を実施し放課後の子どもの安全な居場所を確保します。
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> ●地域で発生する犯罪の認知件数の減少（前年比1%減）や交通事故件数の減少（前年比3%減）及び路上喫煙者の減少（喫煙者率0.12%）に向けた取組を推進し、安全・安心な地域社会の確立を目指します。

〈成果の説明〉

解決すべき課題に対する当該年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ●安全・安心まちづくり推進協議会を中心とした各種防犯活動の推進、防犯診断や青色防犯パトロールカーによるほぼ毎日のパトロールの実施等の結果、市内刑法犯認知件数が前年比276件減(2.4%減)の11,287件となりました。 ●各種媒体を活用して防犯診断、犯罪被害者等支援相談を周知するとともに区役所に加え、今年度から各区老人いこいの家においても出張防犯相談コーナーを開設し、昨年度の15回を大幅に上回る37回実施しました。防犯診断についても、前年度の85件を上回る102件の実施となりました。 ●LED防犯灯の補助灯数を拡充し設置促進を図った結果、町内会・自治会等の御理解御協力のもと、設置数は前年度の2,902灯を大幅に上回り4,962灯となりました。 ●市民、地域団体、行政等が連携した年間を通じてのキャンペーン等の交通安全運動(市民総ぐるみ運動、各季の運動年4回、強化月間年2回)、幼児等を対象とした歩行教室や自転車教室等の交通安全教室(39,637名受講)及び高齢者向け交通安全啓発活動(17回)の実施等により、市内交通事故発生件数は前年比555件減(3,915件(12.4%減)となり13年連続で減少しました。 ●地域交通安全員を住民等の協力により昨年度比17箇所増の103箇所に配置しました。 ●キャンペーン活動など路上喫煙防止に向けた広報啓発活動を実施した結果、路上喫煙者の割合が0.05%に減少しました。 ●子育て支援・わくわくプラザ事業を実施し放課後の子どもの安全な居場所を確保しました(2013年利用者128,175人)。
--------------------	---

残された課題,新たな課題,社会環境の変化等	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯診断・犯罪被害者等支援相談の利用促進に向けて、継続的により効果的な広報・啓発等を実施する必要があります。 ●不点灯防止や町内会・自治会の負担軽減が図れるLED防犯灯について、前年比大幅な灯数増となっていますが、全防犯灯数約76,000灯に対する割合は約9,600灯(約12%)とまだ低く、設置促進をさらに図る必要があります。 ●喫煙者のマナー向上に向け効果的な広報・啓発を実施するとともに喫煙場所や路面標示を適切に維持管理する必要があります。 ●自転車関係事故の件数も減少(2012年1,350件から2013年1,162件と前年比188件減)していますが、自転車利用者の交通ルールを遵守しなければならないという意識は十分に浸透しておらず、全事故に占める割合は約30%と高い構成率で推移しています。 			
	2011	2012	2013	市内の刑法犯認知件数や交通事故発生件数、路上喫煙者の割合は、前年度比で減少していますが、事業特性上、更なる減少に向けた、継続的な取組が求められるため。
評価結果及びその評価区分とした理由	A II	A II	A II	

A 施策が順調に推進したもの(新たな課題等 I 無 II 有) B 施策が一定程度推進したもの C 施策が推進していないもの

<今後の取組や方向性及び改善に向けた考え方>

2014年度以降の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯灯のLED化については、町内会・自治会からの要望や設置の促進状況等を勘案し、現行の補助制度のあり方の検討を含め、引き続きLED化促進に向けた取組を進めていきます。 ●2014年度以降、鹿島田・新川崎地区の重点区域指定を予定しており、関係局・区と連携し、重点区域の範囲や指定喫煙場所の設置場所、必要な予算等の調整を進めます。 ●2012年度に導入した自転車マナーアップ指導員*が交通ルール違反者に交付したマナーアップカード(違反項目等を記載)の違反内容やルール違反者の年代等の検証結果に重点を置いて効果的な啓発活動や交通安全教室を実施していきます。
--------------	--

<参考指標>

参考指標名①	参考指標名②	参考指標名③									
市内刑法犯認知件数	路上喫煙者割合	市内交通事故発生件数									
指標の説明①	指標の説明②	指標の説明③									
市内刑法犯認知件数は警察など他の活動等の要因により大きく変動する可能性があります。また、数値は年実績です。	路上喫煙防止重点区域内での通行人に占める喫煙者の割合を把握することで路上喫煙者の減少を目指すものです。	交通事故発生件数は道路状況、法律改正、警察の活動等の要因により大きく変動する可能性があります。また数値は年実績です。									
指標の方向性①	指標の方向性②	指標の方向性③									
小さいほどよい	小さいほどよい	小さいほどよい									
年度	計画値	実績値	単位	年度	計画値	実績値	単位	年度	計画値	実績値	単位
2010		13,825	件	2010		0.15	%	2010		4,852	件
2011	13,700	12,982	件	2011	0.14	0.1	%	2011	4,700	4,526	件
2012	12,900	11,563	件	2012	0.13	0.08	%	2012	4,400	4,470	件
2013	12,700	11,287	件	2013	0.12	0.05	%	2013	4,300	3,915	件

<事業費>

(単位:千円)

年度	2011(H23)年度		2012(H24)年度			2013(H25)年度		
	予算	決算	計画事業費	予算	決算	計画事業費	予算	決算見込
事業費合計	750,941	755,065	739,959	834,866	811,392	739,635	922,789	901,219

<配下の事務事業一覧>

事務事業名	第3期実行計画期間の達成状況	事務事業名	第3期実行計画期間の達成状況
防犯対策事業	Ⅲ	交通安全推進事業	Ⅲ
路上喫煙防止対策事業	Ⅲ	交通事故相談事業	Ⅲ
地域コミュニティ推進事業	Ⅲ	わくわくプラザ事業	Ⅲ
学校安全事業	Ⅲ		

<用語説明>

自転車マナーアップ指導員: 自転車交通事故多発地域を中心に市内を巡回し、自転車の交通ルール違反者に違反項目が記載されたマナーアップカードを交付し、自転車の安全運転を呼びかける。